

経済指標ウォッチャー

日本GDP成長率(2020年4-6月期) 大きく落ち込む

個人消費、輸出が大幅に落ち込み、過去最大のマイナス成長

GDP (国内総生産) とは？

Gross Domestic Productの略で、国内において一定期間内に新たに生産されたモノやサービスなどの合計金額。その国の経済力の目安に用いられる。

前年同期や前期と比べ、どのくらい増加(減少)したのかを見ることで、国内の経済成長を推定することが可能となる。GDPの増減率を%で表したものを『GDP成長率』と呼ぶ。

2020年第2四半期GDPは過去最大の減少幅に

内閣府が8月17日に発表した、2020年4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率(季節調整済み、1次速報値)は、前期比年率27.8%減と事前予想の同26.9%減も下回り、データが取得できる1955年以降で最大の落ち込みとなりました(図表1)。

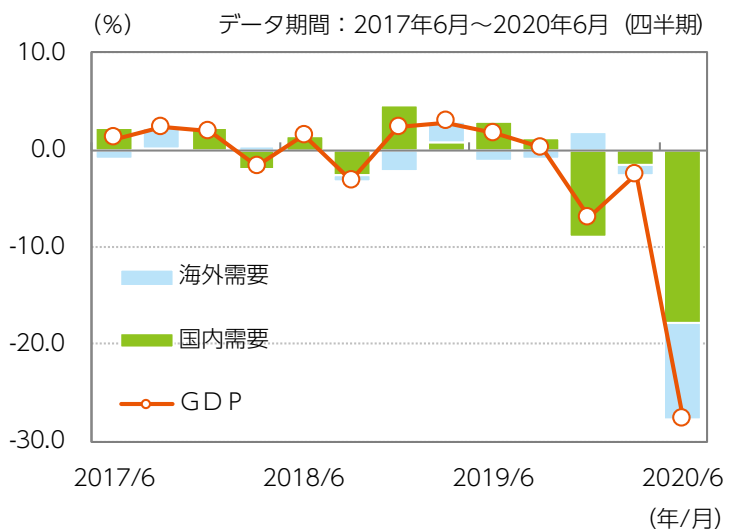
日本経済は2019年10月の消費税増税以降、景気後退とみなされる2四半期連続のマイナス成長を記録していました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受けた外出自粛や店舗休業の影響から経済活動が停滞し、9年ぶりに3四半期連続のマイナス成長となりました。

個人消費を中心とした内需が大幅に悪化

項目別寄与度では、外出自粛や店舗休業などの影響を受け、個人消費のマイナスが最も大きくなりました。また、2020年4~6月期に戦後最大のマイナス成長を記録した米国をはじめとして世界的に景気が後退したことを背景に輸出も大きく落ち込みました。民間住宅投資、民間設備投資もマイナス寄与となり、公的固定資本形成(公共投資)を除く全ての項目でマイナス成長となっています(図表2)。

2020年5月の緊急事態宣言解除を受けて、経済活動は徐々に再開されつつあります。鉱工業生産指数や小売売上高といった指標は6月に上昇しており、景気は5月で一旦底を打ったものとみられます。しかし、足元では新型コロナウイルスの一日あたり新規感染者数が再び増加しており、景気への悪影響が懸念されます。2020年7~9月期はこれまでの反動からプラス成長が見込まれますが、新型コロナウイルス感染状況次第ではマイナス成長に陥ることも想定されます。

図表1：GDPは1955年以降で最大のマイナス



※実質GDP成長率(前期比年率)と項目別寄与度の推移

 図表2：個人消費と輸出の落ち込みが大きい
(前期比)

項目	2020年4-6月期 (前期比)	2019年10-12月期 (前期比)
GDP	▲7.8%	▲0.6%
民間最終消費支出	▲8.2%	▲0.8%
民間住宅	▲0.2%	▲4.2%
民間企業設備	▲1.5%	1.7%
政府最終消費支出	▲0.3%	0.0%
公的固定資本形成(公共投資)	1.2%	▲0.5%
財貨・サービスの輸出	▲18.5%	▲5.4%
財貨・サービスの輸入	▲0.5%	▲4.2%

*1 カッコ内は2020年1~3月期 *2 ▲はマイナスを表します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>